



成年後見センター もりおか通信

第19号
平成30年7月27日
発行

— 成年後見の利用を多くの人に —

〒020-0022 盛岡市大通1丁目1番16号(岩手教育会館4階)
認定特定非営利活動法人(認定日付・番号:平成24年12月25日岩手県指令N文第291号)

成年後見センターもりおか 電話/FAX 019(626)6112 発行人:理事長 石橋 乙秀



10周年を迎えて思うこと

理事長 石橋 乙秀

「成年後見センターもりおか」が設立されてから10年を迎えました。当センターは、知的障がいの方の成年後見を目的に設立され、知的障がいの方が安心して生きていけるように、また、知的障がいの方の親御さんが安心して任せられるような組織を目指して設立され、親御さんらの思いがたくさん詰まった法人です。設立当初、岩手県内では法人後見はほとんど活動しておらず、当センターは法人後見を試行錯誤しながら確実に一步一步進めてきました。現在は、法人後見のメリットを生かし、本人の意思を尊重して、真に本人に見合った後見の仕事ができていると思います。スタッフが本人と旅行等に行ったりして、本人の生きがいを支えているのです。私は、法人後見をやってきてほんとうに良かったとしみじみと思っています。これも、スタッフの方々がボランティア精神で本人に寄り添った活動を熱心に行ってきた大きな成果だと思います。

ところで、後見制度が発足してから20年になりますが、我が国では後見制度が必要な人のうち2パーセ

ント強の方しか利用しておらず、大きな問題になってます。とりわけ後見人の担い手不足は深刻な問題です。当センターは、法人後見を行うだけでなく、大きな視野に立って後見制度の広がりにも役立つように、市民後見人の担い手育成にも数年前から力を入れてきました。その成果はまだ形になって現れていませんが、これから徐々に形になって現れてくると思っています。また、弁護士、司法書士及び社会福祉士等の専門家の後見はもはや人数からして限界であり、市民後見も進展せず、法人後見の重要性が益々高まっていると思いますが、法人後見の広がりにも関わっていきたいと思っています。

私は後見制度の普及がなかなか進まず、もどかしさを感じていますが、当センターは継続は力であると信じて、今後も着実に邁進していきたいと考えています。

しかし、当センターが充実した活動を行っていくためには皆様のご協力が是非必要です。今後とも宜しくお願いいたします。

10年目の活動を開始
新事務所



事務所は岩手教育会館4階です



事務所入口の目印



事務所内の様子

第10回通常総会を開催

平成30年5月19日(土)第10回通常総会が開催されました。

平成29年度事業報告、貸借対照表、活動計算、並

びに平成30年度事業計画、活動予算に関する議案が承認されました。また、任期満了に伴う理事、監事の選任が行われました。

平成29年度の活動を終えて

平成29年度の主な事業、資金収支の状況は、次のとおりです。

- ◆知的障がい者の方々が、地域で安心して生活していく支えとして成年後見制度の利用を進めていくことを目標にして、制度の普及・啓発、相談、支援等を行う事業を実施しました。
- 普及・啓発活動:会報「成年後見センターもりおか通信」の発行配布、親の会等へ出向いた講座・相談を実施しました。市民が担う後見人を養成・確保を目的に、「盛岡市市民後見人養成講座」を盛岡市と共催しました。54名が修了されました。

◆特定非営利活動事業に係る貸借対照表 及 活動計算書

平成29年度会計 貸借対照表

平成30年3月31日 現在

科目・摘要	金額(単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金		
普通預金	583,411	
東北銀行	473,011	
岩手銀行	110,400	
通常貯金	3,537,654	
郵便振替貯金	250,660	
未収金	5,000	
流動資産合計	4,376,725	
2 固定資産		
土地		
建物		
車両運搬具		
備品		
経営安定化積立金	3,000,000	
固定資産合計	3,000,000	
資産合計		7,376,725
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	395,716	
預り金	2,328	
前受金		
流動負債合計	398,044	
2 固定負債		
負債合計		398,044
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	6,004,374	
当期正味財産増加額	974,307	
正味財産合計	6,978,681	
負債及び正味財産合計		7,376,725

平成30年度の主な活動 ～設立10周年を迎えます～

◆活動の柱

- 成年後見制度の普及・啓発による利用を広める活動
- 成年後見制度の利用に関する相談、申立て等に関する支援活動
- 法人組織の特長を活かした支援活動
- 市民からの支援を広げ、活動基盤づくりを進める活動
- 関係機関、専門職とのネットワークによる利用を広める条件づくり
- 市民が担う後見人を養成・支援する活動
- 設立10周年を記念する活動

◆役員の体制

理事1名が増員され8名となり、石橋乙秀が理事長に互選されました。監事は2名です。

理事長	石橋乙秀	理事	土居りり子
理事	高橋安夫	理事	赤羽卓朗
理事	齊藤芳弘	理事	笹木正
理事	柳 廣	理事	堀合聡毅

監事	加藤義男
監事	三田哲雄

- 相談活動:制度を利用したいという方のため、4月から3月まで個別の相談日(月曜日～金曜日)を設け、84件の相談を受けました。なお、盛岡市のご協力をいただいて「広報もりおか」を通じて、月2日の相談日をお知らせしました。
- 成年後見人の受任・支援活動:平成29年度新たに3名の方を受任しました。受任者が25名となりました。成年後見事業運営委員会の助言をいただいて、支援スタッフがチームをつくり、ご本人の身上に配慮して支援を行いました。

平成29年度会計 活動計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

科目	総合	一般会計	事業会計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員会費	140,000	140,000	
賛助会員会費	363,000	363,000	
2 受取寄付金			
受取寄付金	1,301,040	1,301,040	
3 受取助成金			
受取助成金	640,000	640,000	
4 事業収益			
成年後見事業収入	5,330,000		5,330,000
事務遂行料	2,960		2,960
5 その他収益			
預金利息	124	124	
雑収入	35,981	35,981	
経常収益計	7,813,105	2,480,145	5,332,960
II 経常費用			
1 事業費			
賃金	330,990	186,839	144,151
福利厚生費	74,455		74,455
諸謝金	72,800	72,800	
印刷製本費	84,888	82,188	2,700
会議費	4,225		4,225
旅費交通費	3,081,280	1,213,760	1,867,520
通信運搬費	349,104	148,160	200,944
消耗品費	473,458	101,609	371,849
家賃	1,196,668	119,652	1,077,016
水道光熱費	281,196	28,107	253,089
賃借料	121,541	40,311	81,230
保険料	309,360		309,360
諸会費	12,000	12,000	
租税公課	14,150		14,150
研修費	93,920	93,920	
図書研究費	28,508	28,508	
支払手数料	12,278	10,404	1,874
雑費	64,710	25,412	39,298
事業費計	6,605,531	2,163,670	4,441,861
2 管理費			
印刷製本費	75,600	75,600	
会議費	10,817	10,817	
旅費交通費	55,100	55,100	
通信運搬費			
交際費	7,800	7,800	
租税公課	1,400	1,400	
支払手数料			
振替手数料	10,550	10,550	
雑費			
管理費計	161,267	161,267	
経常経費計	6,766,798	2,324,937	4,441,861
当期経常増減額	1,046,307	155,208	891,099
III 経常外収益			
IV 経常外費用			
経理区分振替額		891,099	△891,099
税引前当期正味財産増減額	1,046,307	1,046,307	0
法人税、住民税及び事業税	72,000		72,000
当期正味財産増減額	974,307	1,046,307	△72,000
前期繰越正味財産額	6,004,374	7,258,228	△1,253,854
次期繰越正味財産額	6,978,681	8,304,535	△1,325,854

「成年後見に関する家族意識調査」の結果について

理事 赤羽 卓朗

本年1月から2月にかけて、盛北エコムネット構成事業所のご協力をいただき、利用者(知的障がい者及び精神障がい者)のご家族を対象とした成年後見に関する意識調査を実施しました。調査票の質問項目は、平成21年度実施調査と同様とし、調査表の配布及び回収は、各事業所を通じて行いました。有効回答数は255となりました。

調査結果概要は次のとおりです。

- ① 本人の金銭管理、福祉サービス利用でトラブルがあると回答したのは、10%以下。
- ② 本人の通帳、印鑑、現金等の管理や福祉サービスに関し「困っていることはない」が85.1%。困っていることとして最も多かったのは、「金融機関での出し入れができない」で9.8%。
- ③ 将来の通帳等の管理については、「家族、親族が管理したい」が半数以上で、「弁護士、司法書士等の後見人に頼みたい」は5.9%。

④ 成年後見制度の認知度では、「よく知っている」と「大まかに知っている」を併せると約4割。(平成21年度実施調査では、54.8%)

⑤ 成年後見制度を利用する時期としては、「今は親族がいるので、利用はもう少し先に考えたい」が8割。

⑥ 成年後見制度を利用しやすくするために必要なこととしては、「情報の提供」60.8%、「利用している人の実際のお話を聞かせてほしい」39.6%などが高い割合となった。なお、結果の全体的傾向は、平成21年度とほぼ同様となっています。

調査結果については、報告書にとりまとめており、今後、当センターホームページに掲載予定です。

調査に実施にあたり、(公財)いきいき岩手支援財団の助成をいただきました。また、調査にご協力くださいました盛北エコムネットの各事業所、ご家族の皆様へ、心からの御礼を申し上げます。

★レポート 相談・支援活動のいま★

平成29年度の相談は84件、「制度一般」「申立」についての相談が主なもので、知的障がい30件、精神障がい12件、認知症29件で、認知症の方の相談が増えてきています。

法人として後見人を引受けた方は25名で、後見19名、保佐5名、補助1名となっています。これまでに3名が

亡くなられ後見人としての役割が終了しましたので、財産は相続人に引き渡しましたが、このところ、親を亡くされる方が相次ぎ、こうした事情の方が11名と半数近くを占めています。今、親亡き後の身上監護と遺産相続や家財の整理、不動産の処分などが支援課題となってきています。

支援員便り

支援スタッフとして活動して

支援員 八重樫 佳子

「成年後見センターもりおか」は今年10周年を迎えますが、私は支援のお手伝いを初めて1年余り、初心者マークがまだまだ取れない新米支援スタッフです。

当センターは、被後見人ひとりに対し、支援スタッフ(2~3人)がチームを作り支援しています。

支援するに当たり、思いがけない出来事がたくさんありオロオロすることもあります。一人で悩まずチームのスタッフに相談しながら対応しています。

私は、市町村長が後見を申し立て報酬も市町村が負担している、知的障がい者支援施設を利用している方を担

当しています。

月に1度施設を訪問し、利用料とこずかいを届けながら健康状況や生活状況を確認しています。

無口な方で、最初はなかなかコミュニケーションが取れなかったのですが、最近は「待っててくれたの?」と思えるような笑顔を見せてくれるときがあります。

そんなとき「ほっこり」します。

こんな「笑顔」が増えるように微力ながらお手伝いしていきたいと思っています。

ご支援ありがとうございました

平成 29 年度中に寄付金・賛助会費・助成金をいただいた皆さま

賛助会員・寄付者 (五十音順)

赤澤 眞一	加藤 義男	須藤 礼子	竹ヶ原和枝	堀合 聡毅	株式会社 IBC 岩手放送
赤羽 卓朗	桐生 一子	菅原 栄造	竹ヶ原 滋	松草 輝子	岩手県高等学校教職員組合
赤羽 雅子	久慈林榮次	菅原せつ子	田中美智子	三島 勲	社会福祉法人岩手更生会 緑生園
浅沼 秀夫	工藤 努	鈴木 昭	玉山 保子	森 園子	社会福祉法人岩手しいの木会
阿部 勝子	工藤 房夫	鈴木 康友	千葉 茂	森田 友明	岩手トヨペット株式会社
石川 民平	工藤 雅夫	鈴木 有希	千葉 紀穂	八重樫佳子	エクナ株式会社
石橋 乙秀	工藤由美子	瀬川 岩夫	網取 猛	八重樫信子	(医) 岡村歯科医院
石橋 和子	熊谷 太	外崎 英子	照井 武彦	矢羽々恵子	株式会社 久慈設計
一井 憲一	倉野美智子	外崎 菊敏	土居 和喜	山内 和子	自治岩手県本部
植田 聰子	事崎 由男	高瀬 直子	中軽米京子	山内 敏夫	消費者信用生活協同組合
植田 健稔	小松 晃	高橋 瑛至	西川 浩行	山口 京子	(株)杜陵印刷
内館 満子	齊藤 一子	高橋 享孝	畠山 将樹	油井由紀子	日本労働組合総連合会岩手県連合会
及川 修子	坂本 安法	高橋 博子	畑中 裕子	吉田 秀勝	ネットトヨタ岩手株式会社
大野 耕平	佐久山 衛	高橋 フサ	花松 行雄	吉田 勝秀	(株)盛岡総合ビルメンテナンス
小笠原吉男	笹木 正	高橋 正之	曳地 哲子	吉田美智子	森永乳業(株)盛岡工場
小川総一郎	佐藤 文円	高橋 靖枝	平野 律子	吉田 良勝	特定非営利活動法人 六等星
柏木 牧子	澤田 眞子	高橋 安夫	藤井 永子	米澤由紀子	助成金
加藤 武男	柴田 裕幸	高橋 縁	藤井 禎勝		(公財) いきいき岩手支援財団
加藤 博子	下屋敷正樹	瀧野 常貴	藤原 敦子		(公財) 岩手県福祉基金

大切なお知らせ

平成30年度に2つの団体から助成金の決定をいただきました

1. いきいき岩手支援財団助成金を活用する活動

成年後見制度活用 啓発事業	・相談支援事業者との連絡会議 ・市民後見マニュアル作成 ・市民後見人支援講座 助成金 450,000 円
成年後見フォーラム 開催事業	・10周年記念講演会開催 助成金 148,000 円

2. 岩手県福祉基金を活用する活動

記念誌発行	10周年記念誌発行
会報発行	2回(第19号・20号)発行
パンフレット作成	業務紹介のチラシを刷新
成年後見図書購入	成年後見啓発図書
助成金 300,000 円	

賛助会員・寄付者を募集しています

本会は、社会貢献活動として成年後見制度が広く活用されるよう相談、申立相談などの活動を行っています。活動を支えていただく賛助会員・寄付者を広く募集しています。

- 会費は、一口3,000円です。
- ご支援をいただける方には、「払込取扱票」を送らせていただきます。